

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

新潟県 加茂市

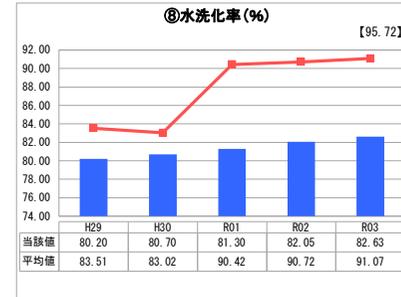
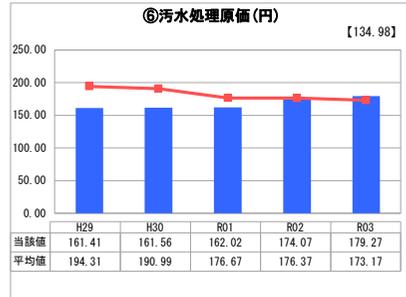
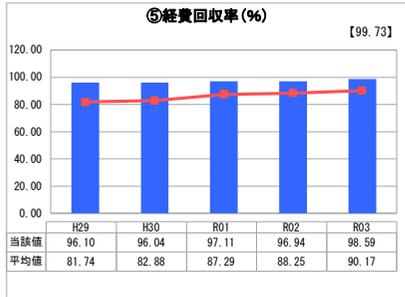
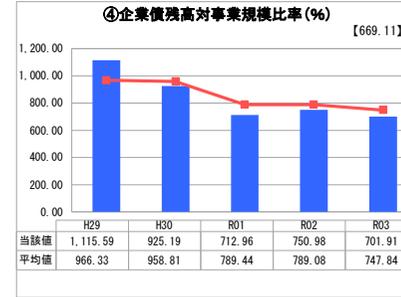
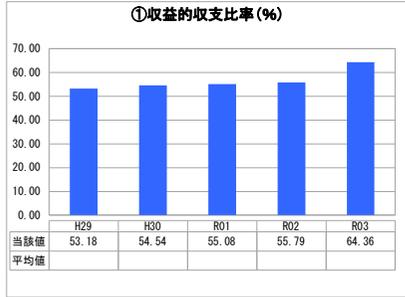
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	70.13	97.56	3,157

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,625	133.72	191.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,807	5.01	3,554.29

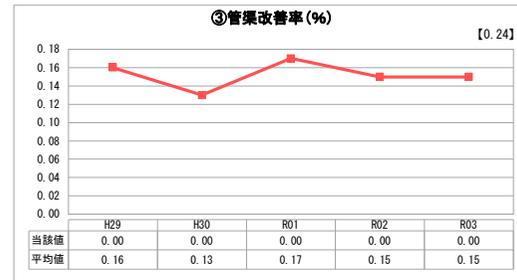
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率について、近年は経営努力により改善傾向が続いていたが、令和2年8月の使用料改定により令和3年度は大きく改善した。今後も定期的な改定で段階的に使用料を引き上げ改善を図る。

類似団体平均値と比較すると、平成28年度から令和3年度において経費回収率は平均を上回ったが、汚水処理原価は下回る結果となった。これは汚水処理原価の平均が改善しているのに対し、汚水資本費のうち元金償還金が増加したことによるものである。

企業債残高対事業規模率は投資の抑制及び使用料改定の効果で改善し、平均値以下を維持している。

水洗化率が平均より低いが、順調に下水道への接続が進んでいる。戸別訪問等で成果が上がっており、さらに下水道接続の促進を図る。

平成25年度に4,000m<sup>3</sup>/日の処理池を増設、処理能力が10,000m<sup>3</sup>/日に向上したことにより、施設利用率が約33% 以下平均以下となった。処理池の更新工事を行うためには、工事期間中に代替処理池の増設が不可欠であり、この利用率の低下はやむを得ない。故障等のリスク回避のためにも、ある程度の能力の余裕は必要である。過去最大流入量は8,518 m<sup>3</sup> (H29.7.18) を記録していることから、現処理能力は決して過大なものとは言えない。

### 2. 老朽化の状況について

平成元年供用開始であるので、管渠の耐用年数経過には至っていない。

処理場については耐用年数を過ぎた設備が多くあり、財政状況を考慮しながらストックマネジメント計画により更新する予定である。

## 全体総括

近年の下水道使用料の減収により、令和2年度に10%の使用料改定を行った。年間27,000千円程度の収入増を見込み、効率的な経営のもと今後も3~5年毎に使用料改定を検討する。

整備計画を見直し個別処理へ転換を図ることにより、事業費を抑え公債費の減少を見込む。令和6年4月に公営企業会計に移行し使用料対象原価や資産等状況を的確に把握し、経営状況を明らかにする。

使用料の改定・接続率の向上・経費の見直し等により基準外繰入を減らし、持続可能な経営を目指し令和3年度に経営戦略を見直した。また、公営企業会計移行後においては令和7年度に全体を見直す予定であるが、必要に応じ随時文言等を修正する。

今後も引き続き経営の改善に向けて、現状できる限りの策を講じていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。